

平成25年1月31日
水産庁

水産物の市況について(平成25年1月及び平成25年2月)

—東京都中央卸売市場における平成25年1月(平成24年12月21日～平成25年1月20日集計)の市況と、
平成25年2月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成25年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べてやや減少となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)はやや強含みに推移しました。

II 平成25年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は、北部太平洋海域(犬吠埼沿岸、房総沿岸、三陸北部沿岸))

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は冷凍原料、製品ともに需要期を過ぎて、横ばいに見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ横ばいに見込まれ、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域(金華山沖合、犬吠埼沿岸)、駿河湾～伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域。)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ横ばいに見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼沿岸、九州西方海域、山陰沿岸)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は需要の最盛期を過ぎることから、赤身類、脂身類ともに前月と比べ減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円／kg）

	1 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
25年	47	944	52	894	51	799
前年	41	973	48	915	44	851

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円／kg、％）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	1 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生 鮮 品）	394	95	84	85
さけ・ます（平均）	518	98	79	84
（ぎんざけ塩蔵品）	525	100	75	78
（あきさけ塩蔵品）	420	100	76	97
（ときさけ塩蔵品）	840	100	99	106
（べにざけ塩蔵品）	840	100	97	94
（さけ類冷凍品）	500	100	86	88
さば（生 鮮 品）	395	106	127	9 8
するめいか（平均）	446	100	104	103
（生鮮品）	455	100	103	99
（冷凍品）	433	100	109	126
あじ（生 鮮 品）	464	80	97	104
まぐろ（冷凍品）	1, 179	92	79	84
（めばち冷凍品）	805	99	73	81
（きはだ冷凍品）	676	101	66	78
（くろまぐろ冷凍品）	3, 754	100	95	107
（みなみまぐろ冷凍品）	1, 762	97	70	76

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：1月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 岡野、庄田
 直通 03-3591-5612